【大学からのお知らせ】

エリザベト音楽大学　川野祐二　学長
ベルギー王国より王冠勲章オフィシエ章受勲

このたびエリザベト音楽大学の川野祐二学長は、ベルギー王国より王冠勲章オフィシエ章を授与されました。本学では、1966 年に創立者エルネスト・ゴーセンス師が同王国よりレオポルト騎士勲章を授与されており、それ以来の栄誉となります。受勲の理由について次のことが挙げられました。

「エリザベト音楽大学は 1951 年にエリザベト王妃より学校名を賜るなど、長年にわたるベルギーとの交流の歴史があります。ブリュッセル王立音楽院との近年の学術交流あるいは合同演奏会に際して、学長はたいへんに尽力されました。2017 年のブラッケ下院議長、2018 年のレインデルス副首相兼外務・欧州担当大臣等、国の要人の広島訪問に際して、学長をはじめとする大学の皆さんは手厚い歓迎を行ってくださいました。これらすべてを勘案して、川野学長はベルギーと日本間の友好交流の強化に貢献したことが認められました。」

ベルギー王国内では 2020 年 7 月に受章者が決定され、同年 10 月、大使館から川野学長に連絡がありました。新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中で、受勲式の日程は 5 回も延期されましたが、2021 年 5 月 17 日に東京の大使館においてようやく執り行われました。受勲式では数名の家族他が見守る中で、ロクサンヌ・ドゥ・ビルデルリング駐日大使より勲章が授与されました。川野学長は大使へのお礼として、次のように述べています。

「この勲章は、私個人に対して贈られたものではなく、エリザベト音楽大学に対するものだと考えています。新型コロナウイルスの問題が解決した後には、ブリュッセル王立音楽院との連携をさらに深めます。エリザベト音楽大学創立 75 周年記念事業である、学生オーケストラおよび合唱団のヨーロッパ公演では、ベルギーにおいて演奏を行うことを希望しており、お力添えをお願いしたい。さらに創立 75 周年記念式典においては、ベルギー王室関係者並びにドゥ・ビルデルリング大使のご臨席を賜ることができれば誠に光栄に存じます。」

《受勲式》

左上：王冠勲章オフィシエ章
右上：ドゥ・ビルデルリング駐日大使(右)
　　と川野祐二学長
　下：受勲の様子